

【2015年(平成27年)】

10月 木島平中学校 10人、引率3人がディーキルシュ市を訪問



生徒同士が集まり市内巡り



ホストファミリーの家でのひととき

【参加者の声】

・僕にとって外国に行くのは初めての経験でした。長時間の飛行機移動やホームステイは緊張もありましたが、どれもよい経験になりましたし、楽しい時間でした。僕がこれからの生活に活かしていきたいことは、もっと積極的に人とコミュニケーションをとることです。そのために少しずつ英語を勉強して、言葉だけでなく、文化、習慣の違いを認め合い、世界に目を向けてコミュニケーションのとれる人間になりたいと考えています。

・パリでは主に、エッフェル塔や凱旋門、ルーヴル美術館に行きました。今までは、テレビを通してしか見られない世界だったので、実際に自分の目で見る事ができて嬉しかったです。私が印象に残っているのは、凱旋門とルーヴル美術館で見た「モナ・リザ」です。凱旋門はすごく大きくて迫力がありました。細かい装飾もされていて石でできているとは思えないくらいでした。ルーヴル美術館で見た「モナ・リザ」は本当に印象的で、今でも鮮明に思い出されるほどです。他にも見るもののすべてが美しかったです。天井絵があったり装飾されているものがあったり、建物自体が芸術でした。人が住むことを目的として建てられた建物だとは思えませんでした。初めてのパリ見学はとてもいいものになりました。

・この一週間で、私は人の優しさをたくさん感じました。ルクセンブルクに行く前は、外国というのは遠い存在で、日本とは別世界と感じていました。しかし実際に行ってみると、話す言語は違いますが、一緒に笑ったり一緒に楽しんだり、同じ歌を知っていたりと共通するところも多くあり、遠いようで意外と近い存在のように感じました。実際に行ったからこそ吸収できたことがたくさんありました。私にとって一生の思い出となる時間を過ごせました。

・全体を通してルクセンブルクは、たくさんの言語が行き交う国だと感じました。母国語の

【2015年(平成27年)】

ルクセンブルク語に加え、英語、ドイツ語、フランス語がありました。新聞は記事によって違うということには驚きました。また、今回の訪問で言葉が通じなくても伝えるということが一番重要だと学びました。しかし、英語の重要性も感じました。話せればもっと充実した交流ができると思いました。もっと英語を勉強しなければと感じました。今回の経験は、私にとって貴重な経験となりました。学んだことをこれから活かしていきたいと思います。